

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	山梨県
取組市町村名 取組団体・企業名	韮崎市立甘利小学校
取組の名称	① 食に関する指導 1年生：すききらいなくなんでもたべよう（特別活動） 5年生：食品ロスについて考えよう（道徳） ② 図書コラボ給食 2022 ③ 食に関する掲示物の充実
実施時期	① 8月、11月 ② 11月 ③ 常時
取組内容	① 1年生の特別活動にて「すききらいなくなんでもたべよう」の授業を行いました。授業では赤・緑・黄色の三つの色のなかまを食べると体にどんな良いことがあるかを伝え、給食には三つの色のなかまがバランス良く使われていること、何でも好き嫌いなく食べて元気に成長してほしいという栄養教諭の思いを伝えました。食の授業では一方的に知識を伝えるのみにがちですが、ICT を使って食べ物のなかま分けをし、児童が楽しめるよう工夫しました。授業後、どのクラスも残食がほとんどなくなりました。 食品ロスについては、残食が気になっていた5年生で、ICT の資料を使って授業をしました。日本の食品ロスの多さを知り、今自分で出来ることを考える授業でした。授業後、残食がほとんどなくなりました。
	  
	② 読書週間中の11月1日～8日まで「図書コラボ給食 2022」と題してお話の中に登場する食べ物を給食に取り入れました。図書室には関連した掲示物と料理のレシピを置き、「食」と「本」の両方に興味関心が持てるよう工夫しました。 
	③ 授業での学習したことをさらに深められるように、学習時期に合わせて5年生の教室の近くに食料自給率に関する掲示をしました。給食と食料自給率の関係を掲示することで自分事として捉えられるよう工夫しました。また、食事のマナーに関する掲示でははしの持ち方を実際に体験できる「豆つかみコーナー」を設置し、正しいはしの持ち方を楽しく学べるようにしました。 

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	山梨県
取組市町村名 取組団体・企業名	丹波山村 村立丹波中学校
取組の名称	丹波山村「舞茸祭」への参加
実施時期	5月～9月
取組内容	今年度は、本校初となる、地元丹波山村主催の「舞茸祭」へ参加をしました。食育の視点としては、中学生が考案した料理を舞茸祭で出品し、人々へ発信する活動をする過程で、自らも地場産物について学び、食の恵みや調理、食べる楽しみを感じてもらうことを目的としました。 対象者は全校生徒 9 名で、事前学習や準備、振り返り期間を含めて計 10 回の活動となりました。 生徒の活動や指導には多くの場面で、地域の方々に協力していただきました。以下が主な取り組み内容です。 ・ 5 月 丹波山村の特産品である原木舞茸についての学習と伏せ込み作業。出品物の試作。 ・ 6 月 試作 2 回目。 舞茸祭当日の役割や商品の売価の話し合い。 プレ販売を行い、当日の動きを想定した動線の確認。 ・ 7 月 宣伝活動。 ・ 9 月 下ごしらえ。 舞茸祭本番。 振り返りとアンケート。

